

「京大人文研東方学叢書」を語る in 東京

人文研アカデミー2019

# 本づくりの 舞台裏

## 【講演】

古勝隆一 「老荘思想は役に立つのだろうか、そもそも読書は有益か」

永田知之 「「書くこと」の意味を求めて—前近代中国における文学観の一斑」

船山 徹 「仏教修行者の内面的な信仰を客観的に描写する」

## 【日時】

2019年6月30日(日) 13:00~17:00 ●聴講無料、事前申し込み不要

## 【会場】

明治大学リバティタワー3階1032 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

主催 | 京都大学人文科学研究所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

お問合せ | 京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902 (月~金 9:00~17:00)  
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp> メールアドレス: [z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp](mailto:z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp)

共催 | 株式会社 臨川書店 本社: 〒606-8204 京都市左京区田中下柳町8番地 東京: 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-11-16



# 舞台裏の本づくりの

臨川書店から刊行中の「京大人文研東方学叢書」(第一期、全十巻)は、京都大学人文科学研究所の東方学研究部の所員がそれぞれ一冊の一般書を書いて世に問うというコンセプトで、2016年以来、出版されており、このたび、その第7冊目、8冊目が刊行されました。これを記念して講演会を開催します。「夜郎自大」にも「曲学阿世」にもなるな、というシリーズの趣旨を尊重し、品位を保ちつつもわかりやすい内容を目指しています。このシリーズのどの本にも、より多くの方々に読んでいただくための工夫がこめられていますので、本を書くにあたって何を考えたのかを三者三様ご紹介し、またその後、執筆者三名による座談会もあわせておこなう予定です。京大人文研の東方学と、それを体現するこのシリーズに親しみを持っていただきたいと思っておりますので、この機会に、ぜひご参加下さい。

## 【講師紹介】



### 古勝隆一 (こがち りゅういち)

【所属】 京都大学人文科学研究所 准教授  
 【専門】 中国古典学  
 【主要著作】  
 『中国中古の學術』(研文出版, 2006年)  
 『老子道德経』(慶應義塾大学出版会, 2017年, 井筒俊彦英訳の翻訳)



### 永田知之 (ながた ともゆき)

【所属】 京都大学人文科学研究所 准教授  
 【専門】 中国古典文学  
 【主要著作】  
 『唐代の文学理論—「復古」と「創新」』(京都大学学術出版会, 2015年)  
 『目録学に親しむ 漢籍を知る手引き』(研文出版, 2017年, 共著)



### 船山 徹 (ふなやま とおる)

【所属】 京都大学人文科学研究所 教授  
 【専門】 インド中国仏教の思想・歴史・文化  
 【主要著作】  
 『仏典はどう漢訳されたのか—スートラが経典になるとき』(岩波書店, 2013年)  
 『東アジア仏教の生活規則 梵網経—最古の形と発展の歴史』(朋友書店, 2017年)  
 『六朝隋唐仏教展開史』(法蔵館, 2019年)



【会場】  
 明治大学リハビリタワー  
 3階1032

- 【アクセス】
- JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」下車徒歩約5分
  - 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」下車徒歩約5分
  - 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」下車徒歩約5分
  - 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町駅」下車徒歩約5分

## ●夏期公開講座 『名作再読』

## 次回 予告

講師 | 藤井正人 / 中西竜也 / 菊地暁  
 日時 | 2019年7月13日(土)  
 場所 | 人文研本館 共通1講義室

